

日本鉱物科学会 平成21年度第3回 定例評議員会議事録

日時：平成22年9月23日（木）17:50～20:20

会場：島根大学 松江キャンパス 大学ホール

出席：

評議員会

会長：松原 聡

副会長：大谷栄治

評議員：赤井純治、石渡 明、入船徹男、榎並正樹、土山 明、
坂本尚義、吉田武義、赤荻正樹、赤坂正秀、小山内康人、
平島崇男、吉朝 朗、上原誠一郎、大和田正明、川本竜彦、
土屋範芳、中牟田義博、濱本拓志、宮脇律郎、柳澤教雄
委任状：工藤康弘、富樫茂子、廣井美邦、小澤一仁、奥山康子、
鍵 裕之、鈴木和博、田切美智雄、榎原正幸

庶務幹事：小山内康人

会員幹事：平島崇男

会計幹事：石渡 明

行事幹事：大和田正明

和文誌編集幹事：赤坂正秀

英文誌編集幹事：榎並正樹

渉外幹事：柳澤教雄

広報幹事：柳澤教雄

科研費担当特務幹事：土屋範芳

会計監査委員：長瀬敏郎

地球惑星科学関連学会連絡担当委員：吉田武義、黒澤正紀

三鉱連絡委員：小山内康人・大和田正明

選挙管理委員会委員：安東淳一

行事委員会委員長：大和田正明

GKK編集委員会委員長：赤坂正秀

JMPS編集委員会委員長：榎並正樹

広報委員会委員長：柳澤教雄

会則・内規検討委員会委員長：土山 明

渉外委員会委員長：赤坂正樹

新鉱物・命名・分類委員会委員長：松原 聡

将来企画委員会委員長：大谷栄治

2010年年会運営委員長：赤坂正秀

議事に先立ち、書記として川本竜彦評議員が選出され、満場一致で承認された。

I. 報告事項

1. 会員報告（平島会員幹事）

平成21年度第2回評議員会以降の会員動静について報告があった。物故会員1名（名誉会員1名）、退会者37名（永年会員1名、一般正会員31名、学生正会員5名）、であり、現時点での会員数は943名となった。賛助会員、講読会員を含む団体登録は、182件である。

2. 広報・渉外報告（柳澤広報・渉外幹事）

平成21年度は、公募情報、関連学会情報等について55回のメール配信を行い、学会HPへの掲載も行った。また、ICCT-2010において、日本鉱物科学会の英文ポスター展示を行った。島根年会において、「はやぶさセッション」のプレスリリースを行った。

3. 和文誌（GKK）編集報告（赤坂GKK編集幹事）

9月17日現在、39巻4号（7月号）まで発行済み。現在の投稿論文は7編。岩石鉱物科学38巻5号（9月）～39巻4号（7月）の掲載件数と頁数は以下の通り。原著論文8件135p、短報2件11p、総説2件19p、資料・解説5件42p、訂正1件1p、新刊紹介4件3p、ニュース（他学会案内、教官公募等）5p、投稿規定3p、学会記事（評議員会・総会議事録、連合ニュース等）25p、2010年会案内・プログラム34p、追悼文2件3p、総目次2p、広告10件10p、白頁2p、合計295頁。現時点で、編集委員会では頁チャージ、特集号、「岩石鉱物科学」のあり方、編集委員の定年と任期、Scopusへのデータ提供、電子ジャーナル公開サイトへの図・表の利用などが議論されている。

4. 英文誌（JMPS）編集報告（榎並JMPS編集幹事）

9月17日現在、105巻4号（8月号）まで発行済み。5号（10月号）は原著論文2編、連合Letter5編を掲載予定。6号（12月号）は原著論文4編、連合Letter3編を掲載予定。現在査読中の投稿論文は14編。2010年年会での講演を対象にLetterの投稿を募集中。JMPS104巻5号（10月）～105巻4号（8月）の掲載件数と頁数は6号分以下の通り。Article 22件256p、Letter 18件102p、Min. Abst. 112件25p、Editorial 1p、Index 4p、Contents 4p、白頁2p、合計394頁。JMPS編集委員会では、ページチャージと投稿規定の一部改訂、Lettersの今後のあり方。論文のカテゴリ、電子出版化、受理原稿の印刷時期、Web査読の一部変更などを検討している。

5. 行事・年会報告（大和田行事幹事）

日本鉱物科学会 2010年度年会・総会は2010年9月23日（木）～25日（土）の間、島根大学で行われていること、日本地球惑星科学連合2011年大会は2011年5月22日（日）～27日（金）の間、幕張メッセ国際会議場で行われること、日本鉱物科学会 2011年度年会・総会は2011年9月2日（火）～4日（木）に日本地質学会と共催で茨城大学において開催される予定である。また、2011年度年会・総会を日本地質学会と共催で行うことに際し、行事委員会と茨城大LOCで打合せを行った。

6. 庶務報告（小山内庶務幹事）

平成21年度第2回評議員会以降の評議員会関連事項3件、地惑連合関連事項3件、声明文1件、後援・共催・協賛事項3件について報告があった。また、2010年9月の事務補佐員交代について報告があった。

7. 地惑連合報告（大谷委員）

2011年連合大会プログラム委員（正：黒澤正紀、副：角替敏昭）について報告があった。セッションの受付が開始されており、特に国際セッションを奨励することが報告された。また、JMPSに連合のロゴを表示することが提案された。

8. 会長・評議員選挙報告（安東選挙管理委員）

平成22年度会長・評議員選挙結果について、次のような報告があった。

会長：大谷栄治

評議員任期3年：

阿部なつ江、井上 徹、黒澤正紀、小暮敏博、高澤栄一、
土谷信高、留岡和重、永井隆哉、長瀬敏郎、中村美千彦
(以上五十音順)

<次点>杉山和正

投票用紙発送日：平成22年6月30日

投票用紙発送数：977 通(海外18通含む)

投票必着締切日：平成22年7月31日

開票集計日：平成21年8月5日

総投票数：315 票 (有効投票313票、無効投票2票)

正会員立会人：大川真紀雄

9. 三鉱連絡報告（大和田委員）

2010年版(2011年2月発行)の三鉱共通名簿は、鉱物科学会が担当する。

10. 科研費報告（土屋特務幹事）

平成22年度はJMPS科研費が採択された。平成23年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)公募に関する説明会への出席者依頼があった。

11. 将来企画検討委員会報告（大谷委員長）

以下のような検討事項が報告された。1) 国際交流についての方針、2) IMA・エレメント誌の購読に関して、3) 会員減少への対策。

12. 教育普及委員会報告（奥山委員長、代理：黒澤委員）

「一家に一枚」ポスター・シリーズの応募に際し、鉱物画像をコンテンツに企画したが、今年度は対応できず。次年度の応募に向けて努力する。

13. 学術会議報告（大谷連携委員）

大型研究プロジェクトなどの学術会議地球惑星科学委員会報告、およびIMA（ブダペスト）について紹介された。

14. 「鉱物・宝石の科学事典」編集委員会報告（土山編集委員長）

朝倉書店からA5判、10,000円程度で出版予定。カラー口絵だけでは足りないのでCDなどで写真を付録としたい。11月以

降に執筆を開始し、来年5月発行を予定している。

II. 承認事項

1. 会員承認（平島会員幹事）

1) 入会の承認 合計30名（入会申込み書別添え）

以下の正会員7名、学生正会員23名の入会申込書が回覧され、入会が承認された。

<一般正会員 7名>

| 氏名 | 勤務先 |
|-------|----------------------|
| 木村多喜生 | ドリームサポート株式会社 |
| 小木曾 哲 | 京都大学人間・環境学研究所 |
| 佐藤 大介 | 産業技術総合研究所 |
| 実松 健造 | 産業技術総合研究所地圏資源環境研究部門 |
| 苗村 康輔 | 京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻 |
| 平野 伸夫 | 東北大学大学院環境科学研究科 |
| 吉村 俊平 | 東北大学大学院理学研究科地学専攻 |

<学生正会員 23名>

| 氏名 | 在学先(入会申込み時点) | 指導教官 |
|-------|-------------------|---------|
| 黄 嵩凱 | 東京理科大学大学院総合化学研究科 | D2中井 泉 |
| 東 真太郎 | 広島大学大学院理学研究科 | M1片山郁夫 |
| 伊集院 勇 | 東北大学大学院理学研究科 | M1石渡 明 |
| 市來 孝志 | 横浜国立大学大学院環境情報研究院 | D2石川正弘 |
| 大越 悠数 | 愛媛大学大学院理工学研究科 | M1皆川鉄雄 |
| 兒玉 優 | 京都大学大学院理学研究科 | D1三宅 亮 |
| 坂下 風子 | 信州大学大学院工学系研究科 | M2牧野州明 |
| 白勢 洋平 | 九州大学理学部地球惑星科学科 | B4上原誠一郎 |
| 寺本 拓摩 | 東北大学大学院理学研究科 | M1石渡 明 |
| 仲谷 友孝 | 熊本大学大学院自然科学研究科 | M1吉朝 朗 |
| 中村 佳博 | 新潟大学理学部地質科学科 | B3赤井純治 |
| 永長 正文 | 東京理科大学大学院総合化学研究科 | M2中井 泉 |
| 永吉麻衣子 | 九州大学大学院理学院 | M1久保友明 |
| 花田 遥平 | 筑波大学大学院生命環境科学研究科 | M1木股三善 |
| 兵士 大輔 | 山口大学大学院理工学研究科 | M1大和田正明 |
| 平床 竜矢 | 熊本大学理学部理学科 | B4吉朝 朗 |
| 福島聡一郎 | 東京理科大学大学院総合化学研究科 | M1中井 泉 |
| 古田 昂大 | 熊本大学理学部理学科 | B4吉朝 朗 |
| 町田 怜史 | 東北大学大学院理学研究科 | M1石渡 明 |
| 三浦 真史 | 金沢大学理工研究域自然システム学系 | M1荒井章司 |
| 緑川 貴裕 | 山口大学大学院理工学研究科 | M1大和田正明 |
| 村尾 玲子 | 東北大学大学院工学研究科 | D2杉山和正 |
| 吉田 健太 | 京都大学大学院理学研究科 | M1平島崇男 |

2) 永年会員への移行6名

(平成21年度からの永年会員合計37名)

井上元之(昭和6年2月5日生)、小倉義雄(昭和6年1月10日生)、大串 融(昭和6年8月22日生)、倉沢 一(昭和5年11月26日生)、中島和一(昭和6年6月22日生)、西澤徳雄(昭和6年2月18日生)が承認された。

3) 除名対象者16名のうち4名は再確認することとし、議決により12名が除名となった。

4) 復活1名(遠西昭寿)が承認された。

2. 平成21年度会計決算報告・承認(石渡会計幹事)

日本鉱物科学会平成21年度会計決算報告および日本鉱物科学会平成20年度特別会計決算報告が行われ、質疑・応答の後、承認された。

1) 日本鉱物科学会平成21年度一般会計決算報告(後頁表1)

2) 日本鉱物科学会平成21年度特別会計決算報告(後頁表2)

3. 平成21年度会計監査報告・承認(長瀬会計監査委員)

平成21年度会計監査が平成22年9月14日に伴・長瀬両会計監事により行われ、帳簿類、会計内容とも問題ないと確認された旨が報告され、質疑の後、承認された。

4. 会則改正文書の承認(土山会則・内規検討委員会委員長)

運営細則の変更および科研費問題検討委員会内規の廃止について提案され、審議の結果、下記の通り承認された。

1) 運営細則 表彰等第39条5 改正箇所「会員」→変更「者」

2) 科研費問題検討委員会委員会内規の廃止に伴う関連規則の改正ア) 削除:各種委員会

第21条 1. 本会に次の委員会を置く。

(8)科学研究費問題検討委員会

イ)廃止:科学研究費問題検討委員会内規

ウ)追加:「科研費に関する事項」を将来企画委員会内規へ追加

改正前:2. 本委員会は、評議員会から本会の長期計画・活動方針等について諮問された場合に設置される。

改正案:2. 本委員会は、評議員会から本会の長期計画・活動方針・科研費等への対応等について諮問された場合に設置される。

(改正運営細則などは後記頁へ掲載。)

5. 総会議題案(小山内庶務幹事)

平成22年9月24日開催の平成22年度総会議題案が提示され、質疑の後、承認された。

総会次第

一 開会

一 議長選出(司会:会長挨拶)、定足数の確認

一 物故会員への黙祷(5名)

一 報告及び承認事項

1. 平成21年度事業報告

2. 平成21年度会計決算報告・承認

3. 会計監査報告

4. 平成22年度会長、評議員選挙結果報告

5. その他

一 審議事項

1. 平成22年度事業計画

2. 平成22年度予算案

3. その他

一 日本鉱物科学会賞授与

一 渡邊萬次郎賞授与

一 日本鉱物科学会論文賞授与

一 日本鉱物科学会研究奨励賞授与

一 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与

一 日本鉱物科学会ポスター研究発表最優秀賞授与

一 日本鉱物科学会ポスター研究発表優秀賞授与

6. 年会開催ガイドラインの改正(大和田行事幹事)

行事委員会提案の年会開催ガイドラインについて、質疑応答の結果、下記の通り承認された。

1) スペシャルセッション講演の依頼に関するガイドライン: 依頼講演と招待講演を統一し、旅費の負担項目を削除する。

2) 「11. 若手研究者の表彰」(変更)

「日本鉱物科学会研究発表最優秀者賞」ならびに「日本鉱物科学会研究発表優秀者賞」

→ 改正「日本鉱物科学会ポスター研究発表最優秀賞」ならびに「日本鉱物科学会ポスター研究発表優秀賞」とする。

3) 学会主催の巡検参加に関して(追加)

巡検への参加資格は以下の通りとする。

日本鉱物科学会名誉会員、正会員および学生会員。ただし、非会員であっても年会参加登録料を支払うことで参加できる。

7. 事務局パソコンの更新(小山内庶務幹事)

2002年6月購入の事務局PCを更新することについて、質疑の後、承認した。

III. 審議事項

1. 文部科学大臣表彰候補者と学振育志賞候補者推薦の件

(小山内庶務幹事)

標記2件の推薦方法について提案され、審議の結果、学会賞候補者あるいは学会賞受賞者、奨励賞受賞者、奨励賞候補者、ポスター賞の受賞者(候補者)の中から適宜推薦することが承認された。

2. シニア会員(仮称、会費割引会員)について

(平島会員幹事)

日本鉱物科学会にシニア会員枠を設定することが提案され、審議の結果、継続課題とすることとした。本件に関する意見は、平島幹事まで。

3. 平成22年度会計予算案について(石渡会計幹事)

日本鉱物科学会平成22年度一般会計予算案および日本鉱物科学会平成22年度特別会計予算案が提示され、審議の結果、承認された。

- 1) 日本鉱物科学会平成22年度一般会計予算 (後頁表3)
- 2) 日本鉱物科学会平成22年度特別会計予算 (後頁表4)

4. NIIのHPサービス終了に伴うHPの移行について

(柳澤広報幹事)

NIIのHPサービスが平成24年3月で終了することにもない、現在のJAMSのコンテンツおよび旧鉱物学会、岩鉱学会の内容のうち必要なものをNiftyサーバに移行することが提案され、審議の結果、承認された。移行時期は事務局と打合せのうえ、決定する。

5. J-STAGE演題登録申し込みサイトの利用中止の件

(大和田行事幹事)

平成24年3月にJ-STAGEの標記サービスが終了するため、今後の代替方法を検討することが提案され、審議の結果、承認された。また、2011年年会(茨城大:日本地質学会と共催)のJ-STAGE運用についても検討する旨、提案があった。

6. 岩石-水相互作用 研究部会の延長申請(土屋評議員)

同研究部会の3年の期限が終了するので、第2期への延長申請があり、審議の結果、延長することを承認した。

7. その他

- 1) 榎並JMPS編集委員長から、JMPS誌の表紙に地球惑星連合のロゴを印刷することについて提案があり、審議の結果、承認した。
- 2) 石渡評議員から日本鉱物科学会の雑誌出版に関するアンケート結果が紹介され、今後の継続課題とした。